

## 企画提案書

## 1 プロジェクト名

静岡まるごと子ども応援プロジェクト！

## 2 実施理由・背景

貧困が理由で、みんなと同じように勉強できない、ご飯が満足に食べられないという子どもたちがいます。誰にも悩みを言えないでいる若者もいます。生活が苦しいがゆえに子どもになにもしてあげられないことに悩む親も静岡市には存在することを私たちは活動を通じて知っています。

そういった方々が既存の相談機関になかなかつながらない現状があり、気軽に助けてといえる仕組みがない状況です。

国立社会保障・人口問題研究所（2013）「2012年生活と支え合い調査の概況」の調べによると、家族に必要な「食料」が買えなかった経験が1年間に約15%というデータもでています。このことから食の支援の必要性を感じる。

## 3 プロジェクト内容説明・スケジュール

## 【 プロジェクト内容 】

## (1) チャットボットやSNSを活用したアウトリーチおよび伴走支援

LINEのチャットボットを開発し、365日24時間どこに相談したらいいのか、相談内容によって専門窓口を紹介できる仕組みをつくります。

さらに、相談窓口に行くこと自体にためらいを持つ方のために、LINEで有人対応による相談にも対応します。若者により届くようにSNS媒体等積極的に広報していきたいと考えています。相談の内容によっては直接支援や、関連相談機関と連携して支援にあたります。

実施期間 2022年5月～2023年2月 通年で実施

## (2) 食品配布会を通じたアウトリーチ活動

定時制高校・大学・ひとり親・子どもに関わる支援団体などと連携し、

食品配布会および相談会を開催し、気軽に相談できるきっかけの場を作ります。企画にはPOPOLOだけでなく地域の支援団体の協力を得て、実施していきます。

実施期間 2022年6月～2023年2月 毎月実施予定

## 【 プロジェクトスケジュール 】

2022年4月～2023年2月 事業広報

(活動協力団体への周知および広報物の作成)

2022年5月～2023年2月 LINE相談・SNS相談開始

(相談者に伴走しながら悩み事に対応する)

2022年6月～2023年2月 食品配布会を通じたアウトリーチ活動開始

2023年3月 報告書作成

## 4 目指すところ

地域で助けてといえない子育て世帯や若者が、気軽に地域の相談機関と繋がるようになり、生活の状況が深刻化する前に、制度の利用や、公的支援や民間支援を受けることができるようになり、その結果、子どもたちが生まれた環境により、人生が左右されることなく、将来に希望を持って生きることが出来るようになることを目指します。

## 5 寄附の使い道

チャットボットの保守管理 12万

消耗品費 12万 (事務用品、食品梱包資材等)

食材費(足りないものは購入) 26万

旅費交通費 6万 (公共交通、ガソリン代)

会場費 15万 配布会の場所代として

通信運搬費 12万 (切手、送料、ポケットWi-Fi)

印刷広告費 24万 (チラシ、動画広告等、デザイン料)

謝金 45万 (配布会の実施に関連した団体への協力謝金として)

倉庫賃料 48万 (食品の保管のための倉庫として使用)

返礼品・手数料 99万 (返礼品およびさとふる手数料)

## 6 ネクストゴールの設定

ネクストゴール設定額： 5,000,000円

ネクストゴール設定時の事業計画

当初予定しているプロジェクト内容に下記を追加する

(3) 学習塾と連携した、学習支援の実施 通年実施

子どもの貧困は学習権のはく奪に繋がりがかねません。静岡市では学習支援事業を行っていますが、通うことが難しいという方もいます。そこで、相談の中で学習支援の必要性がある家庭に対して、家庭教師型、オンライン型の学習支援を実施します。

7 目標金額に満たない場合

予算を再度検討し、実施回数の削減や自己資金の投入により事業実施します

8 団体紹介

POPOLOとはイタリア語で「みんな」や「大衆」を意味する言葉です。

2007年に事務局長である鈴木和樹によってPOPOLOの前身である団体が立ちあげられ、

活動の幅を広げるため2010年にNPO POPOLOに名称を変更し、

その後2013年より、法人格を取得し、NPO法人POPOLOとなりました。

主な活動として

- ①緊急一時宿泊施設の運営
- ②生活・労働相談の実施
- ③食料支援
- ④就労支援（ひきこもり等への支援を含みます）
- ⑤就労移行・就労継続支援B型施設の運営
- ⑥自立準備ホームの運営（更生保護事業）

「未来をみんなで描こう！」との思いから、様々な団体と連携し、それぞれの得意分野を活かし活動を行っています。

様々な立場、思い、知識、経験が集まって、みんなでみんなの問題として

「社会助け」をするのがPOPOLOの活動の特徴です

9 広報計画

寄附が集まるように下記を実施する

- ①法人の過去の支援者リストを活用し寄付依頼を行う
- ②名刺交換をした方々へ寄付依頼を行う
- ③ふるさと納税の簡単なやり方のチラシをつくる
- ④フェイスブックやツイッターなどのSNSで呼びかける

10 目標金額

2,994,000円（ネクストゴール 5,000,000円）

## 積 算 書

団体名：POPOLO

収入			2,994 千円
	科目	内容・数量	金額
ふるさと寄附金			2,994 千円
合 計			2,994 千円

支出			2,994 千円
	科目	内容・数量	金額
事 業 費	チャットボット保守		120 千円
	消耗品		120 千円
	食材費		260 千円
	旅費交通費		60 千円
	会場費		150 千円
	通信運搬費		120 千円
	印刷広告費		240 千円
	謝金		450 千円
	倉庫賃料		480 千円
そ の 他	手数料相当	12% + 税	395 千円
	返礼品関連	20%	599 千円
合 計			2,994 千円